

活気あふれる！ 地域活性化の取り組み



地域の課題解決や活性化のため、まちづくり協議会や自治公民館、NPO、各種団体による主体的で意欲的な取り組みが行われています。今回は横市地区の取り組みを中心に紹介します。

◎問い合わせ
地域振興課 23-7146

住民が主役のまちづくり

少子高齢化を背景に、地域組織の構成員の減少や人と人とのつながりの希薄化など、多くの地域でコミュニティの機能が低下しています。このため、この先も誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、住民やさまざまな団体、行政などが積極的に協働の取り組みを進めています。本市でも、協働のまちづくりの拠点として、各地区にまちづくり協議会を設置。さらに、地域の課題を地域の力で解決する取り組みを支援するため、平成25年度から都城市地域活性化事業を展開しています。

夏まつりで子どもたちの思い 出づくりを

横市地区では、幅広い世代の住民が参加して、地域を元気にするまちづくりに取り組んでいます。今回は、住民主体の夏まつりを開催した実行委員会の鎌田実行委員長と原田事務局長に話を聞きました。

―夏まつり開催のきっかけは
(鎌)地域の子どもの夏の思い出を花火で盛り上げたい、地域の連帯感を高めたいという思いで、昨年、地域活性化事業を活用し、第1回「もちお公園夏まつり」を開催しました。

―今年7月の夏まつりの様子は
(原)今年は約2千人が来場し、フィナーレの花火では大きな歓声が上がるなど、横市地区の新たな夏の風物詩として大成功を収めました。



もちお公園夏まつり実行委員会
実行委員長 鎌田 健さん
事務局長 原田 修作さん

―今後に向けての思いは
(原)横市地区には約6千世帯が住んでいて、子育て世代の住民も増えています。これからも、子どもたちが「今度は何があるかな」とワクワクしてくれるような仕掛けを考えて、地域のことに関心を持ってもらえるよう土台をつくることで、主体的な取り組みを地域全体に広げていきたいと思っています。

11月1日から7日は文化財保護強調週間

みんなで守ろう地域の宝

文化財は、私たちの祖先の生活の中で生まれ、育まれてきた貴重な財産で、昔と今をつなぐ大切な役割を担う「地域の宝」です。現代に生きる私たちに、生きていくためのヒントを与えてくれる文化財をみんなで守っていきましょう。



◎問い合わせ
文化財課 23-9547

危機に瀕する文化財

市内には、多くの有形・無形・民俗文化財があります。地域住民が大切に保存・継承してきましたが、少子高齢化や価値観の多様化などの影響で文化財を守る担い手が減少しています。このため、荒廃したり、破壊されたりしている文化財もあります。

文化財保護の取り組み

市では、地元住民や事業者の協力の下、指定文化財を中心とした文化財保護に取り組んでいます。未指定の史跡などは、必要に応じて市が協力しながら個人や団体が管理し保護に努めています。

遺跡 ―足元に眠る文化財―

地面の下には、昔の生活や文化を教えてくれる貴重な文化財が眠っています。

市内にも、千力以上の遺跡が確認されていて、「埋蔵文化財」と呼ばれる国民共有の財産です。これらは地下にあるため、知らないうちに工事などで影響を与えている場合があります。遺跡を守ることは、私たちの大事な歴史を守ることに繋がります。



高城町牧原遺跡群箱式石棺墓

地域の宝を守り続ける～興玉神社内神殿（安久町）

興玉神社には、国の重要文化財である内神殿があります。この貴重な文化財を守るため、安久地区で「興玉神社国重要文化財管理組合」を設立。組合のメンバーは、ふただ藤田自治公民館長の鬼束いづは蔵さんをはじめとした同地区の自治公民館長の皆さんで、草刈りや掃除、火事対策の訓練、毎日の見回りなどを行っています。また、多くの地域住民も協力し、費用を出したり、作業を手伝ったりしています。



鬼束館長



興玉神社内神殿 ※通常は非公開

一方で、人口減少が進むにつれて、伝統を守ることが難しくなっています。そこで組合は、夜神楽大祭の開催やしめ縄の手作りなどを通じて地域の意識高揚に努めています。この活動は、地域の歴史や文化を次の世代に伝える大切な役割を果たしています。

その工事、ちょっと待って

開発や工事、家屋の建築などを計画したときは、遺跡を守るための協議や手続きが必要です。

- ① 遺跡の範囲の照会
- ※市ホームページでデジタル遺跡地図を公開
- ② 試掘・確認調査（市負担）
- ③ 埋蔵文化財の保護



詳しくは問い合わせください。

市民の協力で守られる文化財

市内には、地下に穴を掘って造る「地下式横穴墓」という古墳が多く存在します。この古墳は、市民からの連絡で存在が確認されることも多く、その保護につながっています。



地下式横穴墓（栗子野町）